

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

目的なのかプロセスなのか

上田染谷丘高等学校 1年 宮本 真琴





## SDGsにおける日本の位置

世界の中でも先進国と言われ、テレビやネットでもSDGsが騒がれている日本ですが、SDGs達成度ランキングは今年、**21位に衰退**しています。

一位は三年連続でフィンランド、上位の殆どをヨーロッパが占めています。日本はアジア圏では一位ですが、日々の生活や世の状況からもわかるように、これといった成果はありません。ジェフリー・サックス氏も「**2030年までの中間時点で世界のSDGsの活動は著しく軌道を外れ、貧しく飛翔に脆弱している**」と述べました。

しかし、2023年6月の報告書では「SDGsはまだ達成可能だ」と強調されています。私も達成に貢献できるように課題とそのためのできることをまとめて提案したいと思います。

出典 (Sustainable Development Report 2023 6月21日)

## 私が考える課題

私は少し前に有料化されたプラスチックのレジ袋について考えと提案をしたいと思います。

11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



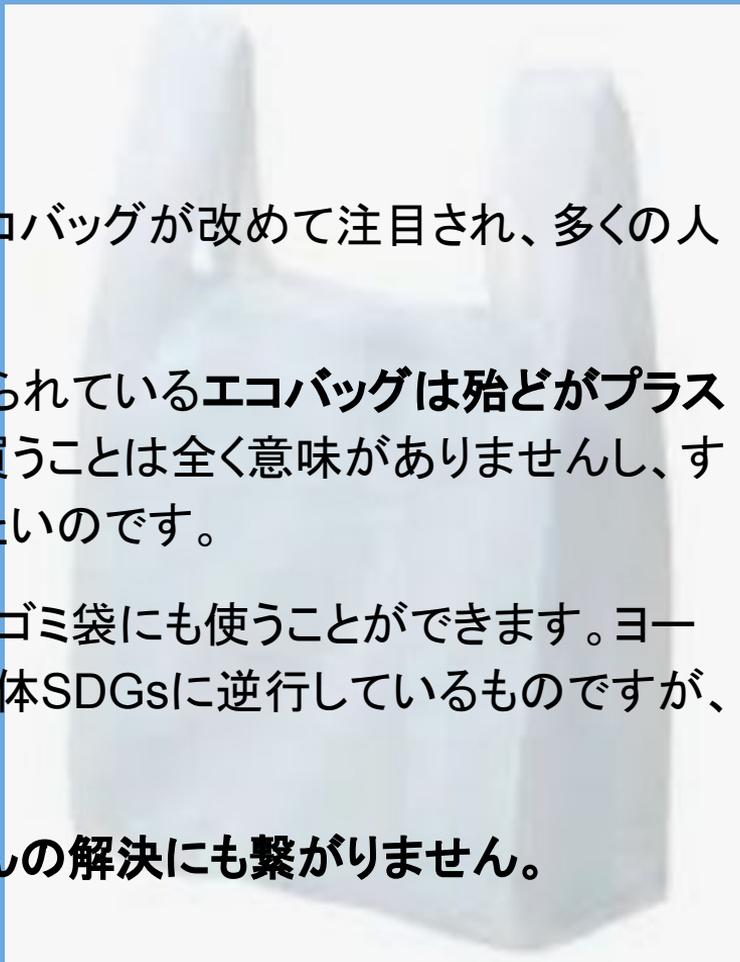
## レジ袋はそんなに害悪なのか？

レジ袋が有料化された今、代替りのものとしてエコバッグが改めて注目され、多くの人が使うようになりました。

しかし、よく考えると100円ショップやスーパーで売られている**エコバッグは殆どがプラスチック**で作られています。エコバックを忘れてまた買うことは全く意味がありませんし、すぐ壊れてしまうので結局画期的なものとはいいがたいのです。

また、レジ袋は何回かは同じ使い方ができますし、ゴミ袋にも使うことができます。ヨーロッパではすでにレジ袋は使っておらず、レジ袋自体SDGsに逆行しているものですが、**レジ袋＝悪は軽率だ**と考えます。

**レジ袋の代わりにプラのエコバックを作ることはなんの解決にも繋がりません。**



## どうせレジ袋なら、良いレジ袋を長く使う

日本ではレジ袋は1円～五円が相場ですが、世界の中でも早くレジ袋有料化を導入したイギリスでは10ペンスとすこし高めです。またフィジーではレジ袋一枚5,3円が義務となり、消費量を半分まで減らすことに成功しています。この成果は有料化だけのものではなく、**レジ袋の質が高いことが影響している**と考えます。

イギリスではほとんどの人がマイバッグを利用し、有料化されているレジ袋は分厚くて丈夫なものが多く、**何回も使われる**ことを想定して作られています。紙袋は有料化対象外なので紙袋もよく使われますが、プラスチックよりも70%大気汚染物質と50倍の水質汚染物質が発生するそうです。参考(Northern Ireland Assembly)

**エコバックもレジ袋も紙袋もだめなのなら、何を  
使えば良いのでしょうか？**



## フィジーとオーストラリアの買い物袋



フィジー: 観光が盛んで、二番目にレジ袋有料化を導入したフィジーはプラスチック削減に力を入れている国です。フィジーのレジ袋はプラスチックの中でもポリプロピレンを使っていて、布のように丈夫で耐熱性と耐久性に優れています。また他のプラスチックと比べてCO2排出量が少なく、**環境に優しいプラスチック**とされています。参考(Fiji to ban polystyrene in 2021|SPREP)(環境に優しい素材ポリプロピレン | 日本ポリプロ株式会社)

オーストラリア: オーストラリアでは**レジ袋が麻など自然に戻る素材**を使い、ボロボロになったら交換をしています。またフィジーと同じく耐久性のあるプラスチックで長く使えるような工夫を政府だけでなくスーパーでやっています。

出典(SIF JOURNAL Produced by Social Innovation Fiji)

# 提案 外国の活動を日本に取り入れる

今の日本の取り組みは、プラスチックをなくすためにプラクチックで製品を作り、結果として順位は衰退しています。レジ袋の代わりにマイバッグを使ってエコ活動することよりも、レジ袋をなくすことが目的になっています。

今ではトートバッグを買い物袋にしたり、世界のように丈夫で環境に優しいプラスチックを使ったり、日本でもスーパーのロゴが入った買い物袋があります。そういったものを使ったり、先述の通り、レジ袋を何回も使ったり、ゴミ袋にしたりと色々な方法があります。

考えの参考: 参議院議員「小野田紀美」

